

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山村資源活用事業
事業主体 (連絡先)	天龍村商工会 青年部 (仲 英典 0260-32-2066)
事業区分	(6) 山村の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	379,310 円 (うち支援金: 331,000 円)

事業内容

- ・登山道入口に、概要を示した総合案内板を設置
- ・登山道に番号付きの現在地表示板の設置
- ・現在地表示板の番号とリンクした登山ガイド(パンフレット)の作成
- ・部員、ボランティアによる登山道整備、実測
- ・熊伏山に親んでもらう為の登山イベントの実施
- ・「熊伏山」写真展示会の開催
- ・インターネットを利用したPR



自己評価(事業実施率)【100%】

事業効果

- ・登山道整備後、新聞等で記事が掲載された事やリピーター等による効果で県内外からの登山者が訪れている。また、山に関する問い合わせや、登山ガイド(パンフレット)を求めて来る人たちがでてきた。
- ・熊伏山に登った一般の登山者が作成してあるブログ等を見ると登山道沿いに設置した標識が載せてあり、PR効果が確実にでている。
- ・パンフレットや案内看板ができたことにより地元の人たちも関心を示してくれるようになった。

【目標・ねらい】

- 中高年層の登山ブーム
- JR平岡駅(龍泉閣)を起点
- リピーターによる宣伝効果
- 地域の人たちの関心度

自己評価(目標達成率)【 B 】

今後の取り組み

最終的な目的である登山道一日周遊ツアーを募集する為の周知PR等を行う事と同時に、今回作成したパンフレットを有効に利用する為、JR東海道線主要駅におきPRに努める。また、静岡県側から登ってくる登山者にもPRできるように新たに設置箱を頂上に設け、横断可能であることをPRしたい。さらに、毎年大雨により河川が氾濫し、登山道も大きく影響を受けるため、都度巡回整備をしなければいけないので、そのためのボランティアを含めて保全に向けた検討が必要である。また、危険箇所の整備については村に整備を要望していきたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。